

# 士別市トンネル長寿命化修繕計画(案)【概要版】

## 1. 計画の目的

現在市が管理する道路トンネルは、市道朝日愛別道路に位置する茂志利トンネルのみです。

当該トンネルは朝日町市街地及び南朝日地区と茂志利地区を結ぶ路線であることから通行止めとなった場合、地域社会に大きな影響を与えます。

今後施設の高齢化に対し、これまでの重大な変状が生じてから対策を行う事後保全対応では、維持管理費の増大と長期間利用者に影響を与えることが想定されるため、損傷が軽微なうちに計画的補修を行う予防保全型管理に転換を図り、施設の長寿命化、ライフサイクルコスト削減、社会的影響を最小限に留め、地域道路網の安全性や信頼性を確保するとともに将来の財政負担緩和を目的とします。

なお、計画期間は2023年度(令和5年度)から2032年度(令和14年度)までの10年間とし、5年毎に実施する定期点検の結果等を踏まえ適宜計画を見直します。

## 2. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本方針

### 1) 健全度の把握の基本方針

健全度の判定及び対策区分の判定は、5年毎に実施する定期点検によって把握します。点検方法は国土交通省及び北海道の要領に準拠して実施し、変状を発見した場合は当該箇所の健全度判定及び緊急度等を早期に把握します。

道路トンネルの判定区分

区分	定義
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

### 2) 日常的な維持管理に関する基本方針

適切なトンネルの維持管理を行うため、従前のおり通常パトロール、定期パトロール(年1回程度)、異常時パトロールを日常的な維持管理として実施し、変状の早期発見に努めます。

## 3. 長寿命化修繕計画による効果

### 1) 道路交通の安全・安心の確保

トンネルの変状を早期に発見して修繕等を適切に実施することで、事故の未然防止と利用者の安全を確保できます。

### 2) 健全な行財政運営(コスト削減)

変状が発生してから対応する事後保全型の管理から、トンネルの環境条件等から変状や劣化を事前に予測して適切に修繕を行う、予防保全型管理に転換することで修繕等に係る事業費を抑制し、ライフサイクルコスト削減を図ります。

- ① 予防保全型の維持管理費 0.75 億円
- ② 事後保全型の維持管理費 2.16 億円
- ③ **費用削減効果** **1.41 億円**

### 3) 社会的影響の軽減

道路ネットワークの遮断は、住民の生活、医療・福祉等に大きな社会的影響を与えることから、本計画に基づき維持管理を進めることで社会的影響を最小限にすることができます。

